

■各国のEMI（電磁障害）

近年、益々パソコン、ファクシミリ等の情報処理装置の安全対策が重要な問題となってきています。電子機器を海外に輸出する場合、EMI規格に合致しない製品は販売できなくなっているのが現状です。

そこで情報処理装置のEMI規制を目的とした各国の規格をまとめてみました。

(1)VCCI(情報処理装置に関する日本の規制)

・伝導妨害

周波数 (MHz)	クラスA		クラスB	
	準尖頭値	平均値	準尖頭値	平均値
0.15~0.5	79dB	66dB	66~56dB	56~46dB
0.5~5	73dB	60dB	56dB	46dB
5~30			60dB	50dB

注) 1 μ Vを0dBとする。
150~526.5kHzを暫定的に設計目標とする。

・放射妨害

周波数 (距離)	第一種		第二種	
	(3m)	(10m)	(3m)	(10m)
30MHz~230MHz	50dB	40dB	30dB	40dB
230MHz~1GHz	57dB	47dB	37dB	47dB

注) 1 μ V/mを0dBとする。

(2)CISPR Pub.22(国際電気標準会議:情報技術装置)

・伝導妨害

周波数 (MHz)	クラスA		クラスB	
	準尖頭値	平均値	準尖頭値	平均値
0.15~0.5	79dB	66dB	66~56dB	56~46dB
0.5~5	73dB	60dB	56dB	46dB
5~30			60dB	50dB

注) 1 μ Vを0dBとする。

・放射妨害

周波数	クラスA	クラスB
30MHz~230MHz	40dB	30dB
230MHz~1GHz	47dB	37dB

注) 1 μ V/mを0dBとする。
測定距離はクラスA:30m、クラスB:10mとする。

(3)CISPR Pub.11(国際電気標準会議:工業用及び医療用(ISM)無線周波数機器)

・伝導妨害

周波数 (MHz)	クラスA				クラスB	
	グループ1		グループ2		グループ1及び2	
	準尖頭値	平均値	準尖頭値	平均値	準尖頭値	平均値
0.15~0.5	79dB	66dB	100dB	90dB	66~56dB	56~46dB
0.5~5	73dB	60dB	86dB	76dB	56dB	46dB
5~30	73dB	60dB	90~70dB	80~60dB	60dB	50dB

注) 1 μ Vを0dBとする。

・放射妨害

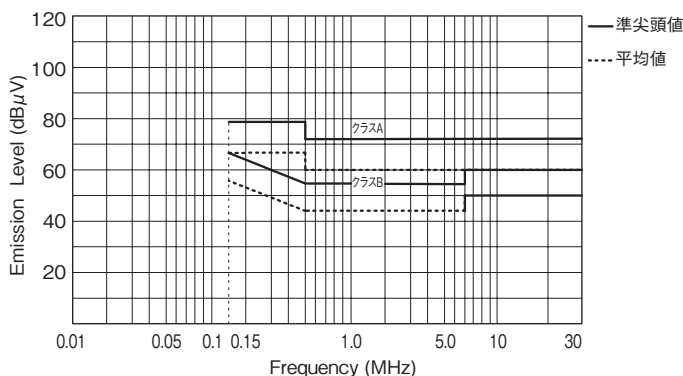
周波数 (MHz)	クラスA	クラスB
	グループ1	グループ1
30~230	40dB	30dB
230~1,000	47dB	37dB

注) 1 μ V/mを0dBとする。

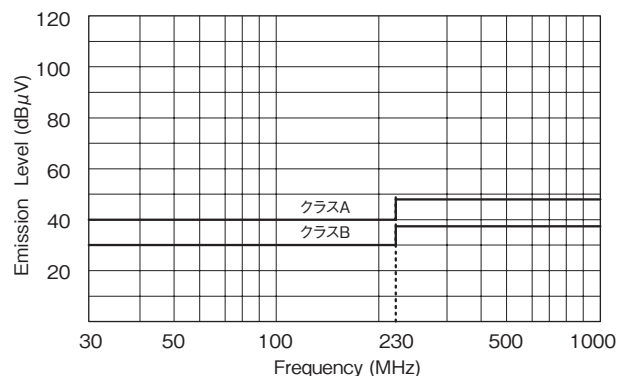
伝導妨害

放射妨害

■ CISPR Pub.22



■ CISPR Pub.22



FCC Part.15 Subpart.B

(米国:連邦通信委員会 非意図放射機器)

・伝導妨害

準尖頭値

周波数(MHz)	クラスA(μV)	クラスB(μV)
0.45~1.705	1,000(60dBμV)	250(48dBμV)
1.705~30	3,000(69.5dBμV)	

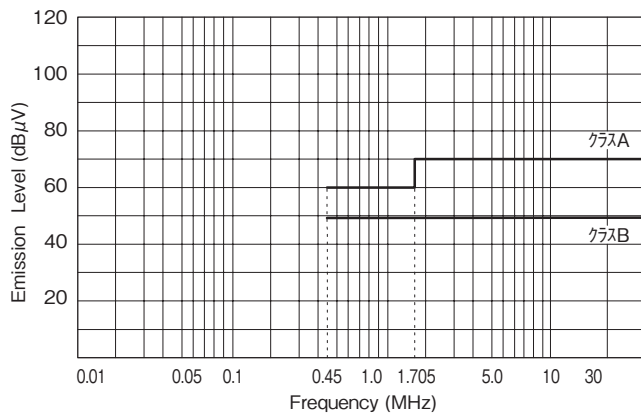
・放射妨害

周波数(MHz)	クラスA(μV) 10mにおける値	クラスB(μV) 3mにおける値
30~88	90(39dBμV)	100(40dBμV)
88~216	150(43.5dBμV)	150(43.5dBμV)
216~960	210(46.5dBμV)	200(46dBμV)
960~1,000	300(49.5dBμV)	500(54dBμV)

伝導妨害

■ FCC Part.15 Subpart.B

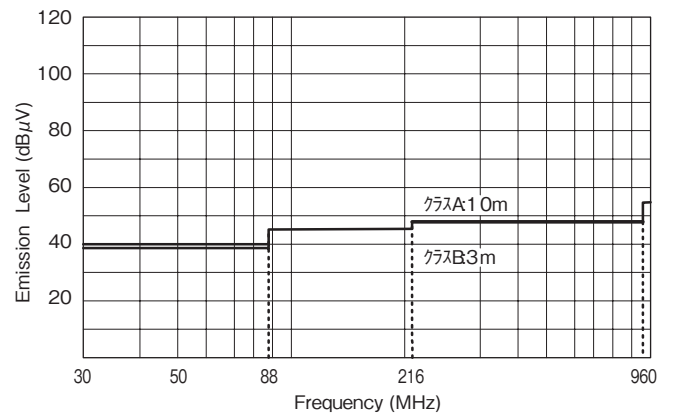
— 準尖頭値
---- 平均値



放射妨害

■ FCC Part.15 Subpart.B

— 準尖頭値
---- 平均値



- ・クラスA(第一種):商工業地で使用されるデジタル機器で、汎用コンピュータ、ファクシミリなどが対象。
- ・クラスB(第二種):住宅地域で使用されるデジタル機器パソコン、ワープロなどが対象。